

郡山まちづくり協議会 地域計画

(2024 年 4 月～2028 年 3 月)



郡山まちづくり協議会
2024 年 4 月

はじめに

地域計画 2020～2023 年の 4 年間が終わります。

2020 年早々に発生したコロナ感染で郡山まちづくり協議会の活動も中止せざるを得ませんでした。2023 年 5 月に感染症法第 5 類移行後規制が緩和されて活動を進めて行く環境になってきました。

2023 年は従来の「まちの音楽会」、「もちつき大会」、「南部交番交流会」などが久し振りに開催することができました。地域の交流を深めることができ、かつてのような活動が戻りつつあります。

2024～2027 年度の地域計画作成にあたり、2023 年度に全世帯を対象にアンケート調査をお願いしました。それぞれお住いの地区で色んな情報を頂いて郡山地区として何を進めて行くのかを含めた地域計画を作成します。

アンケート調査では特に高齢化に伴う意見が多く有りました。

郡山地域で実現できること、実現したいことをこの地域に住む皆さんで真剣に話し合い、地域のモノ・財産にしていかなければならないと思います。

高齢化の進行は誰も止めることはできません。待ってもくれません。

郡山地区を住みやすく、いつまでも明るく元気で安全＆安心な街に変えていきましょう。

皆様の今後の積極的なまちづくり協議会へのご参加・ご協力をお願い申し上げます。



2024 年 4 月

郡山まちづくり協議会
会長 吉原達美

もくじ

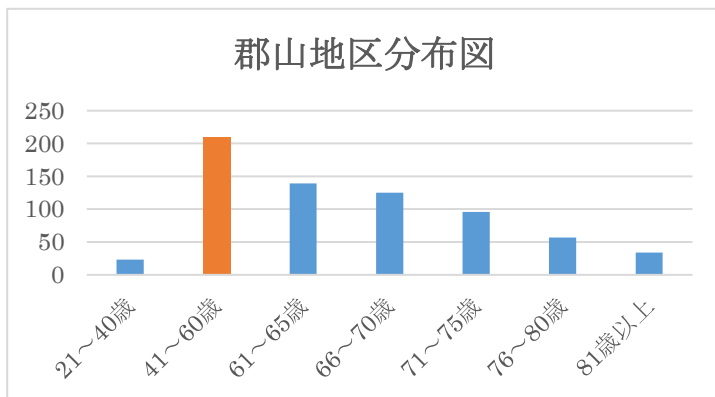
1 郡山地域の状況について（アンケート設問B～E）……………	1
2 郡山地域は、暮らしやすいですか？（アンケート設問 1）……………	2
① 暮らしやすい理由（アンケート設問 1-2）……………	3
② 暮らしにくい理由（アンケート設問 1-3）……………	4
3 日常生活の 5～7年度の困りごと（アンケート設問 2）……………	5
4 日常生活の10～15年後の困りごと（アンケート設問 2-2）……………	6
* 以上の暮らしと困りごと・不安集約すると……………	7
5 地域の活動に参加したことがありますか？（アンケート設問 3）……………	8
6 今後、参加したい地域の活動はありますか？（アンケート設問 3-2）…	9
7 暮らしやすい郡山地域にするにはどんな取組が必要ですか？……………	10
（アンケート設問 4）	
8 今後、郡山地域をより暮らしやすくするための課題、意見など……………	11
（アンケート設問 6）	
9 おわりに ……………	14

1 郡山地域の状況について（アンケート基本情報 設問B～E）

アンケート総回答数 1694 戸に配布し, 749 戸から回答を得ました。(回答率約 44%)

B 回答者の年齢は？

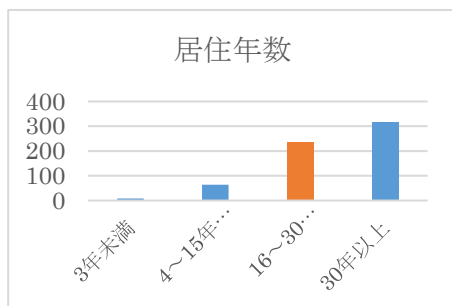
20 歳未満	21～40 歳	41～60 歳	61～65 歳	66～70 歳	71～75 歳	76～80 歳	81 歳以上
0.0%	3.4%	30.6%	20.4%	18.3%	14.1%	8.3%	5.0%
0	23	209	139	125	96	57	34



今回のアンケートでは郡山地区 41 歳～60 歳と 61 歳～65 歳で 50%以上の現役の皆様の回答を多く戴きました。66 歳～75 歳も 30% となり、まだまだ元気な皆様の意見と、全体を考えたアンケートになったかと思います。

C 居住年数は？

3 年未満	4～15 年未満	16～30 年以上	30 年以上
1.2%	9.4%	34.7%	46.4%
8	64	237	317



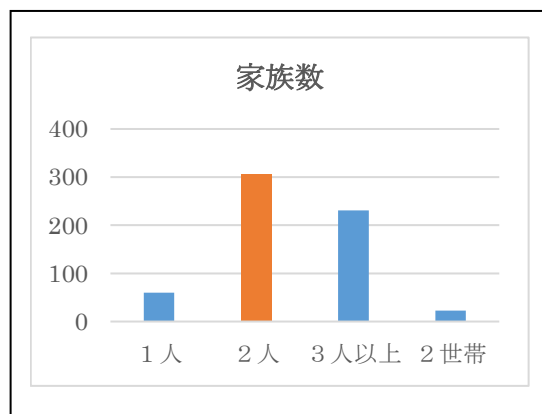
この地区に 30 年以上お住まいの方が約半数を占めています。

D 住まいの形態は？

戸建（所有）	戸建（賃貸）	集合住宅（賃貸）
89.2%	0.7%	0.0%
609	5	0

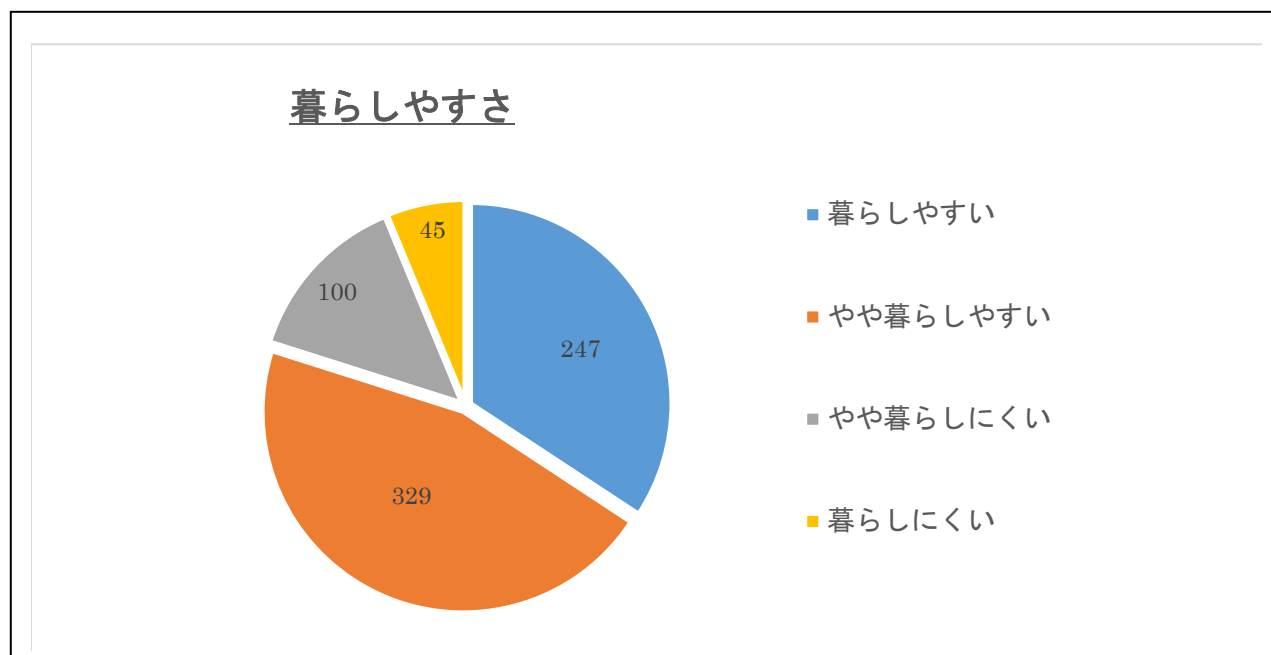
E お住いの家族は？

1 人	2 人	3 人以上	2 世帯
8.8%	44.8%	33.8%	3.4%
60	306	231	23



2 郡山地域は、暮らしやすいですか？（アンケート設問 1）

暮らしやすい	やや暮らしやすい	やや暮らしにくい	暮らしにくい	未回答
36.2%	48.2%	14.6%	6.6%	0.0%
247	329	100	45	0



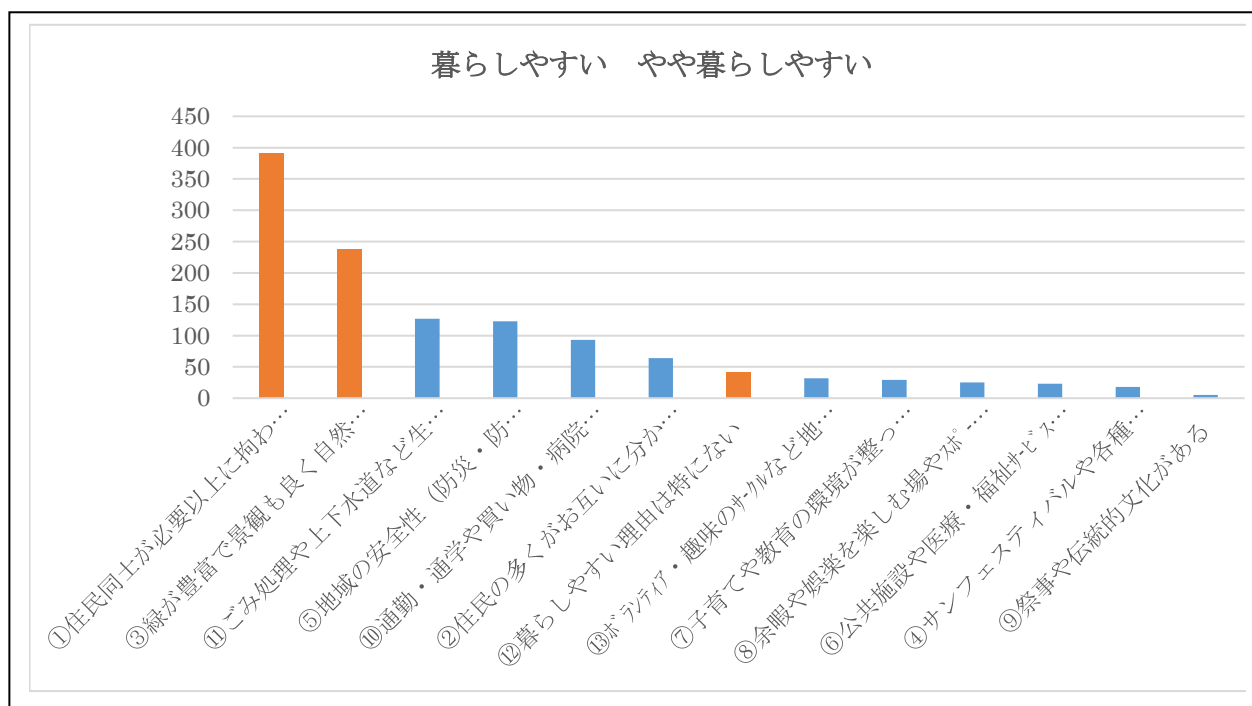
【アンケートまとめ】

今回のアンケートの回答者の8割以上が郡山地域に暮らしやすさを感じていました。
また、それに反して、暮らしにくさを感じる2割の回答もありました。



① 暮らしやすい・ややくらしやすい（アンケート設問 1-2）

①住民同士が必要以上に拘わらないのが気楽	391
③緑が豊富で景観も良く自然環境が豊か	238
⑪ごみ処理や上下水道など生活環境が良い	127
⑤地域の安全性(防災・防犯)が高い	123
⑩通勤・通学や買い物・病院へ通うのが便利	93
②住民の多くがお互いに分かり合っているなど地域の絆が強い	64
⑫暮らしやすい理由は特にな	42
⑬ボランティア・趣味のサークルなど地域活動が充実している	32
⑦子育てや教育の環境が整っている	29
⑧余暇や娯楽を楽しむ場やスポーツ活動の場が近くにある	25
⑥公共施設や医療・福祉サービスが利用しやすい	23
④サンフェスティバルや各種行事に参加しやすい	18
⑨祭事や伝統的文化がある	5



【特徴】

地域の雰囲気や近隣との関係が良いことがあげられました。次いで団地が自然に囲まれた閑静な住宅街であることが上位にあげられました。

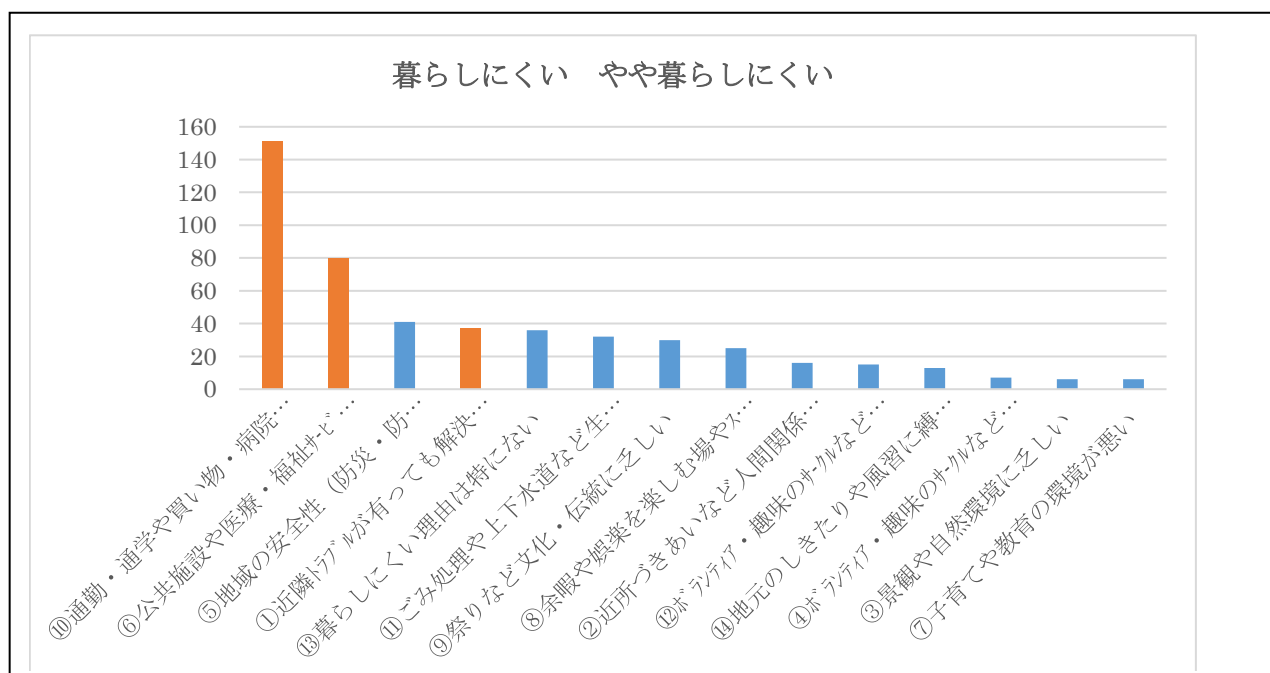
この近隣との関係性については、深い近所づきあいや交流を指しているのではなく、お互いが干渉し合わない近所づきあいや、個々の世帯が独立して生活できる生活環境が暮らしやすさに繋がっています。

また、新興住宅地ならではの住環境の整備が整っていることや地域の安全性が高いことも暮らしやすさの要因になっています。

注目すべき点は、通勤や通学、買い物、病院に通うのが便利であることが上位にあげられており、現在、地域が若く車を利用する人が多いため、交通に不便を感じる人が少ないことがうかがえます。

② 暮らしにくい・やや暮らしにくい理由（アンケート設問 1-3）

⑩通勤・通学や買い物・病院へ通うのが不便	151
⑥公共施設や医療・福祉サービスが利用しにくい	80
⑤地域の安全性（防災・防犯）に不安	41
①近隣トラブルが有っても解決の方法を知らない	37
⑬暮らしにくい理由は特にない	36
⑪ごみ処理や上下水道など生活環境が悪い	32
⑨祭りなど文化・伝統に乏しい	30
⑧余暇や娯楽を楽しむ場やスポーツ活動の場所がない	25
②近所づきあいなど人間関係が煩わしい	16
⑫ボランティア・趣味のサークルなど地域活動で利用できる情報が少ない	15
⑭地元のしきたりや風習に縛られるなど地域の閉塞感を感じる	13
④ボランティア・趣味のサークルなど地域活動が活発でない	7
③景観や自然環境に乏しい	6
⑦子育てや教育の環境が悪い	6



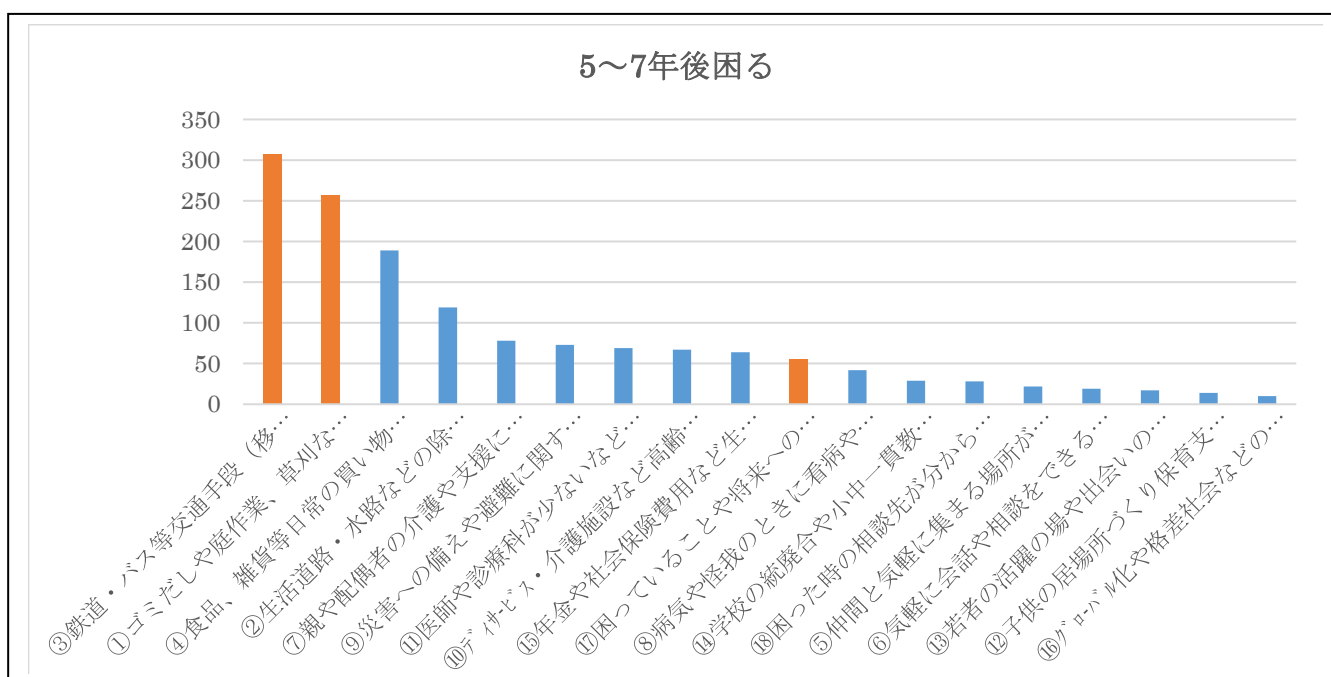
【特徴】

暮らしにくさを感じる理由の上位1位と2位は、通勤や通学、買い物、病院に通うのが不便であることと、公共施設や医療・福祉サービスが利用しにくいことがあげられており、地域の立地上、車などの交通手段が無いと生活がしにくいことが上位にあげられました。

また、地域の安全性に不安を感じていることや近所づきあいなどの人間関係に煩わしさを感じていることも上げられています。

3 日常生活の困り事 今後 5～7 年で不安を感じる事(アンケート設問2)

③鉄道・バス等交通手段（移動手段）に関する事	307
①ゴミ出しや庭作業、草刈などの日常生活のこと	257
④食品、雑貨等日常の買い物に関する事	189
②生活道路・水路などの除草・清掃など生活環境のこと	119
⑦親や配偶者の介護や支援に関する事	78
⑨災害への備えや避難に関する事	73
⑪医師や診療科が少ないなど医療体制に関する事	69
⑩デイサービス・介護施設など高齢社会のサービスに関する事	67
⑮年金や社会保険費用など生活資金に関する事	64
⑰困っていることや将来への不安は特にな	55
⑧病気や怪我のときに看病や世話をしてくれる人がいないこと	42
⑭学校の統廃合や小中一貫教育など学校環境に関する事	29
⑱困った時の相談先が分からないこと	28
⑤仲間と気軽に集まる場所がないこと	22
⑥気軽に会話や相談をできる相手が見つからないこと	19
⑬若者の活躍の場や出会いの場が少ないこと	17
⑫子供の居場所づくり保育支援など子育て環境に関する事	14
⑯グローバル化や格差社会などの現象が地域に波及すること	10



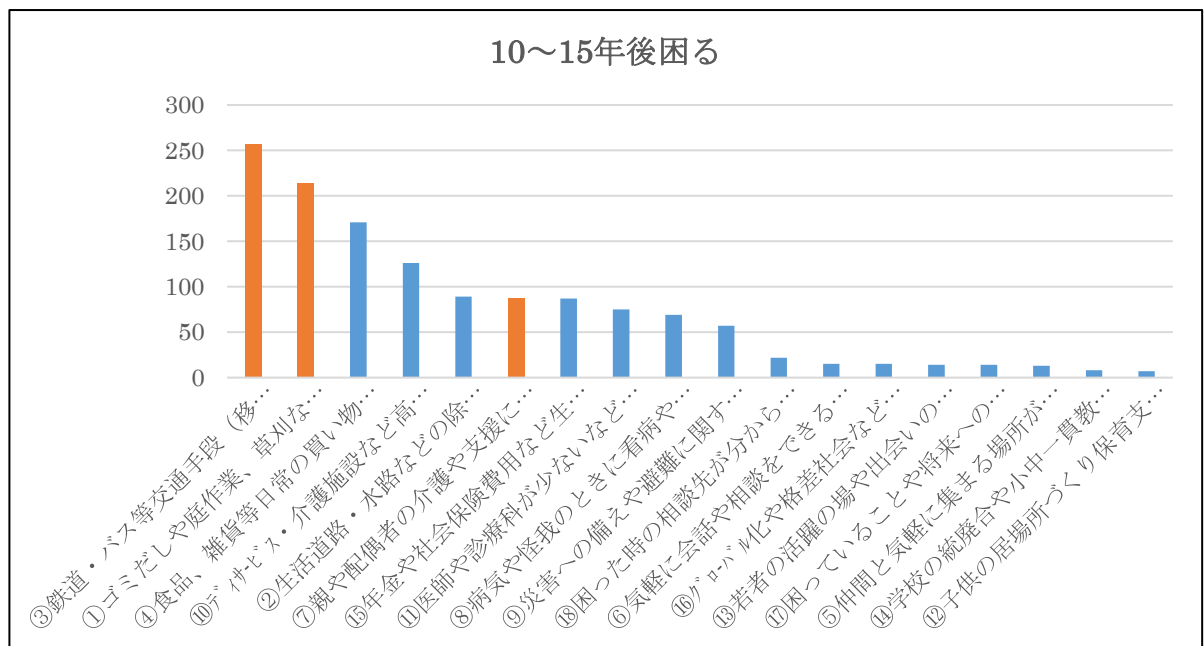
【アンケートから】

近い将来の 5 年～7 年後を想定しての困る事のアンケートでは、移動のための暮らしにくさを感じる理由の上位1位は、通勤や通学、買い物、病院に通うのが不便であることと、公共施設や医療・福祉サービスが利用しにくいことがあげられており、地域の立地上、車などの交通手段が無いと生活がしにくいことが上位にあげられました。

また、上位の中にゴミ出しや庭掃除、草刈などの日常生活に関する困りごとを感じているのが表れています。

4 日常生活の困り事 今後 10～15 年で不安を感じる事(アンケート設問2-2)

③鉄道・バス等交通手段（移動手段）に関する事	257
①ゴミだしや庭作業、草刈などの日常生活のこと	214
④食品、雑貨等日常の買い物に関する事	171
⑩デｲｰビス・介護施設など高齢社会のサービスに関する事	126
②生活道路・水路などの除草・清掃など生活環境のこと	89
⑦親や配偶者の介護や支援に関する事	87
⑮年金や社会保険費用など生活資金に関する事	87
⑪医師や診療科が少ないなど医療体制に関する事	75
⑧病気や怪我のときに看病や世話をしてくれる人がいないこと	69
⑨災害への備えや避難に関する事	57
⑱困った時の相談先が分からないこと	22
⑥気軽に会話や相談をできる相手が見つからないこと	15
⑯グローバル化や格差社会などの現象が地域に波及すること	15
⑬若者の活躍の場や出会いの場が少ないこと	14
⑰困っていることや将来への不安は特にな	14
⑤仲間と気軽に集まる場所がないこと	13
⑭学校の統廃合や小中一貫教育など学校環境に関する事	8
⑫子供の居場所づくり保育支援など子育て環境に関する事	7



【アンケートまとめ】

更に 10 年～15 年後を想定しての困る事のアンケートでは、5 年～7 年後とよく似た結果が出ています。日常生活に関する不安が表れています。

さらに、加齢による地域の生活に不安を感じる事が上位にあげられました。交通手段の不便さと合わせて、高齢者サービス、地区の除草・清掃があげられています。

****暮らしやすい・暮らしにくいのにアンケートについて集約してみました****

【郡山地域の暮らしの考察】

暮らしやすさと暮らしにくさを比較すると、地域の交通事情が特徴的な結果になり、いずれの設問でも上位にあげられていました。

これは、地域が全体的に若い世帯が多いため、車などの交通手段が確保されており、不便を感じる人が少ないことがうかがえますが、一方で、太陽の街の団地は、昭和50年代後半に出来たことを考えると、すでに、交通手段の確保が困難で買い物や通院難民となる世帯が多くあることが考えられます。

また、暮らしやすさの最も上位に位置付けられている事柄は、近所づきあいが希薄であることがあげられ、互いに干渉し合わないことなど、世帯間に一定の距離が確保出来ていることを暮らしやすさと感じている世帯が非常に多いです。

このことと関連して、地域の安全性について、インフラを中心とした安全性が確保されていることが暮らしやすさに繋がっていますが、一方で、近所と関わりの薄い、独立した生活を営む世帯が多いことから、世帯ごとに安全を確保する必要がありますが、大規模災害時などで現在の生活様式のままで安全確保できなくなった時への不安が、暮らしにくさを感じる人数を増やした要因と考えられます。そのほかに

- ・ 若い者が外へ出て行き、地域の高齢化・世帯減少による農地荒廃
- ・ 地域の自治会活動等、高齢になっての参加はつらくなる。もちまわりの班長制度等の見直し必要。
- ・ 老人ばかりで若者が少ない

とこの地区からの過疎への気になる流れが有ります。



****困りごと、不安について集約してみました****

【郡山地域 困りごと・不安の考察】

郡山地域における困りごと、不安に思われていることで最も多かったのは、鉄道・バス等の移動手段に関するものでした。次いで、食品、雑貨等日常の買い物に関する事で、全体の半数を占めていました。

これは、地域の近隣に商業施設や医療施設が無いことや年々移動手段の確保が困難になってきていることが要因として考えられます。

次に、ゴミ出しや庭作業、草刈りなどの日常生活に関する事、生活道路・水路などの除草・清掃など生活環境のことがあげられています。

これは、ごみ集積所の維持管理に関することや、地域内の側溝清掃など個人で対応することが難しく、地域で対応しなければ解決できない問題だと考えられます。

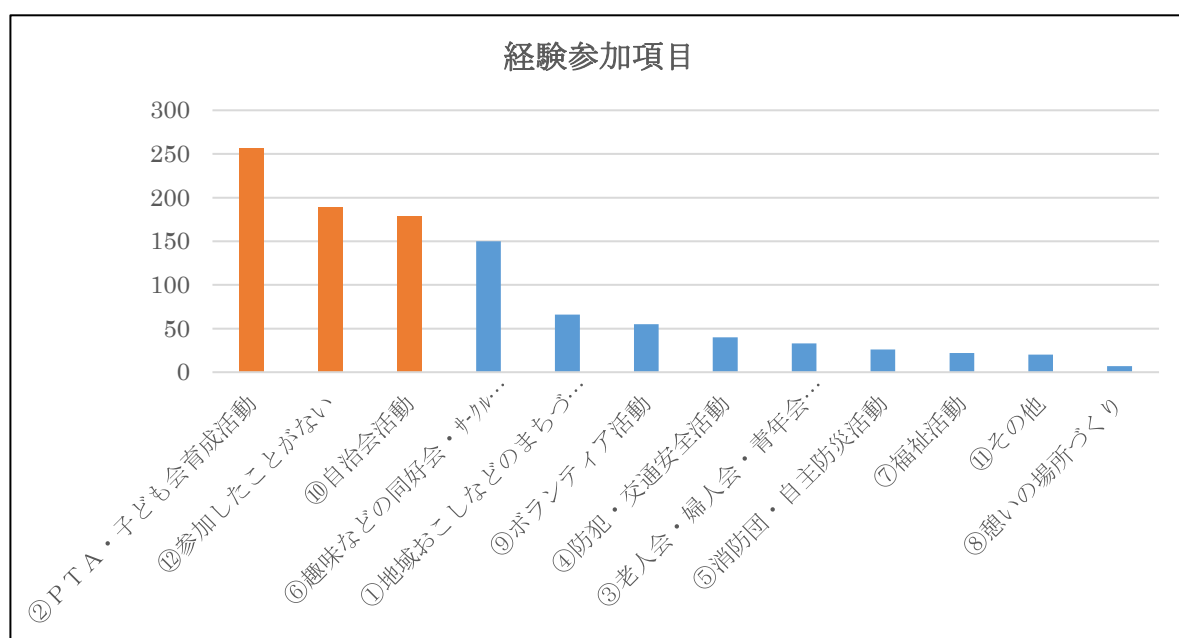
続いて年金や社会保険費用など生活資金に関する事、医師や診療科が少ないなど医療体制に関する事、デイサービス・介護施設など高齢社会のサービスに関する事でした。このことから、老後の生活に関する項目について、将来的な不安が大きいことが分かりました。

また、高齢化の進行によって、災害時の避難に関する項目が続き、ここまでで、地域の困りごとや不安の全体の8割を占めていました。

少数意見としては、気軽に会話や相談を出来る相手が見つからないことや仲間と気軽に集まる場所が無いこと、若者の活躍の場や出会いの場が少ないことなどの、人と人のつながりをキーワードとしたコミュニティに関する困りごとがありました。

5 地域活動の参加経験(アンケート設問 3)

②PTA・子ども会育成活動	257
⑫参加したことがない	189
⑩自治会活動	179
⑥趣味などの同好会・サークル活動	150
①地域おこしなどのまちづくり活動	66
⑨ボランティア活動	55
④防犯・交通安全活動	40
③老人会・婦人会・青年会などの活動	33
⑤消防団・自主防災活動	26
⑦福祉活動	22
⑪その他	20
⑧憩いの場所づくり	7



【アンケート】【考察】

地域活動で実際に参加した項目について確認してみました。

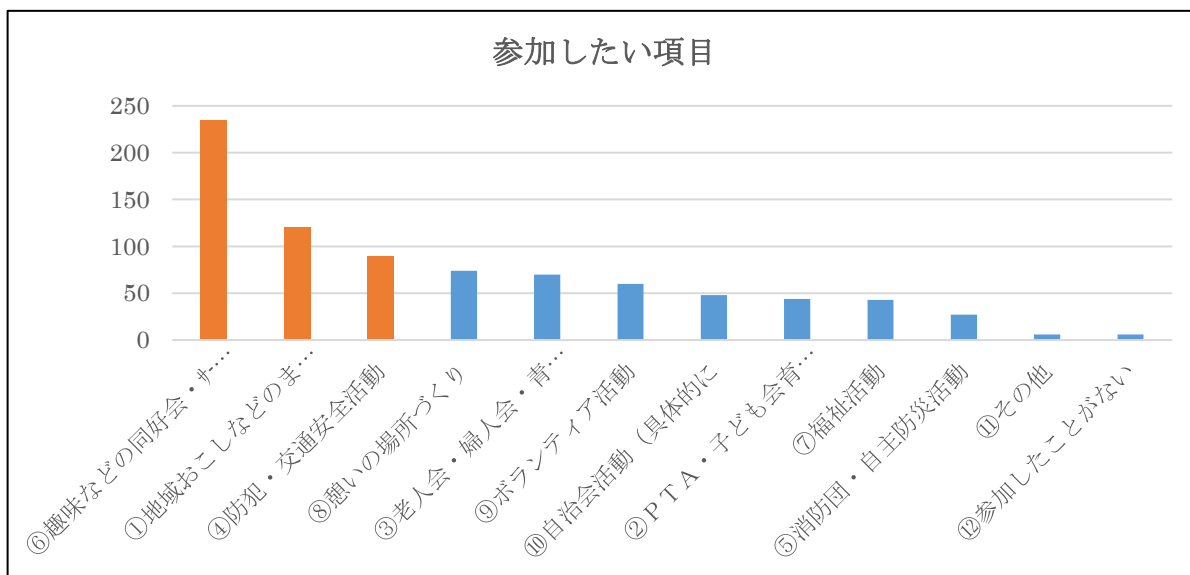
今回のアンケートの回答者が現役の皆様が多く、学校関係の活動が首位を占めています。

児童生徒の為に役回りが有りますので実績として挙がって来ました。注目点として参加したことがないとの集計結果が2位にあります。

現役世代共働きによる参加のしにくさが有るかと思われます。

6 今後、参加したい地域活動は？(アンケート設問3-2)

⑥趣味などの同好会・サークル活動	234
①地域おこしなどのまちづくり活動	120
④防犯・交通安全活動	89
⑧憩いの場所づくり	74
③老人会・婦人会・青年会などの活動	70
⑨ボランティア活動	60
⑩自治会活動	48
②PTA・子ども会育成活動	44
⑦福祉活動	43
⑤消防団・自主防災活動	27
⑪その他	6
⑫参加したことがない	6



【アンケート】【考察】

地域活動の今後の活動に参加してみたい項目を確認してみました。

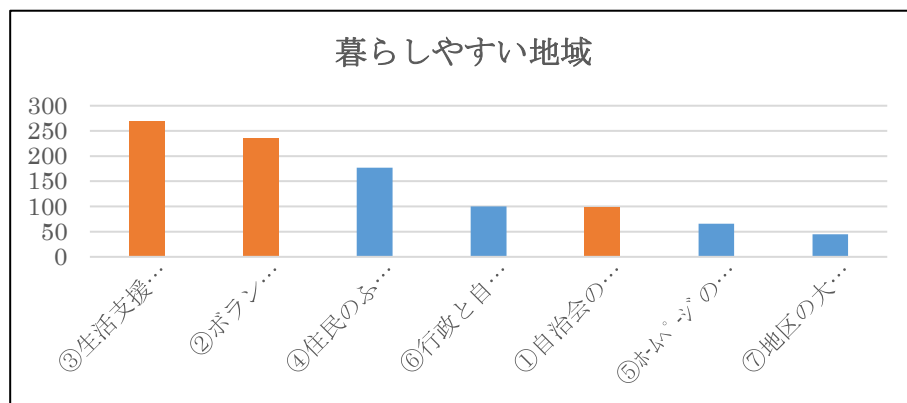
今回のアンケートでは趣味等、サークル活動を挙げられた方が多くみられました。

更に、地域おこし、安全活動、憩いの場所づくり、などなどの地区の活性化やコミュニケーションを高めるための回答を戴きました。

地域をよくするために嬉しい結果を得ました。

7 暮らしやすい地域にする取り組みの必要なことは？(アンケート設問4)

③生活支援に向けた新たな制度や仕組みづくりに取り組む	269
②ボランティア活動に住民が積極的に参加できる環境づくり	236
④住民のふれあえる機会を多様化するなど当地区の人的交流を進め地域の絆を強めていく	177
⑥行政と自治会（会員個人）との関係強化	100
①自治会の役員やサポーターを増やし、地域活動を充実させる	99
⑤ホームページ作成など、地域に関する情報発信・情報共有がしやすい環境づくりに取り組む	66
⑦地区の大学を含む各学校との関係強化	45



【アンケートまとめ】

暮らしやすい地域にする必要な課題として集計を行いました。

- ・生活支援に向けて制度や仕組みづくりに取り組む
- ・ボランティア活動に参加できる環境づくり
- ・住民のふれあえる機会をつくり、人的交流 絆を強める等々人と人との繋がりへの取り組みや場所の要望が強いことが分かります。
- ・暮らしやすい地域を作るために、ボランティアに頼るより対価を払ってサービスを受けるべき。また、地域が取り組む必要はなく。行政に期待。
- ・高齢者の買い物事情など、しやすい様に
- ・自治会長のくじびきはやめられないか。太陽の街の年齢層もあがっているのでは？一年交代ではむづかしい。地域の方が顔を合わせる機会をつくる。

【考察】

すべての自治会で、低額で生活支援を行う有償ボランティアなど、生活支援に向けた新たな制度や仕組みづくりに取り組むことが最も必要な取組であると結果が出ています。また、自治会の役員やサポーターを増やし、地域活動を充実させることや自発的なボランティア活動に住民が積極的に取り組むことも上位にあげられました。

また、自治会の役員やサポーターを増やし、地域活動を充実させることも上位にあげられましたが、自主的に役員やサポーターに手を上げる人たちに期待したいです。

まずは、同じく上位に位置された取組である住民のふれあえる機会を多様化するなど、地域の人的交流を進め地域の絆を強めていくことが地域の課題解決の糸口になりそうです。

昔ながらの地域のつながりを好まない世帯が多いという事実がありますが、住民個人で地域の困りごとや不安なことを解決できないことや行政が積極的に対応してくれないことを認識しています。これからは、将来の超高齢社会に向けて、地域の住民それぞれが、不快と思わない程度の距離感で人付き合いを広げ、誰かがやるのではなく、自分の出来る範囲で地域活動に参加し、地域の困りごとや不安なことを自分のことと考えて解決にあたらなければならないと考えます。

8 この地区をより暮らしやすくするための課題・意見(アンケート設問 6)

【交通関係に関する課題, 意見】

- ・ 中央病院、回生病院へ通院が大変だと年配の方からよく聞くので、家族のいないお年寄りでも短時間でバスで直行できる方法があると良い。現在の市バスでは広範囲に迂回するので時間がかかる。予約制にするとか病院専用バスを作るなどして老人の一人暮らしでも安心できる街にして欲しいです。
- ・ コミュニティバスを白子駅、又は、磯山駅までのばしてほしい。四日市、名古屋方面へ出向くのに便利
- ・ 地域内のどこからも余りストレスを感じずに、公共交通機関にアクセスできる街づくり(公共交通機関の充実も必要ですが)
- ・ 中勢バイパスが開通したことで、車の往来が増え、危険が増していることへの不安がある。
- ・ 今後、高齢化が進み、車の運転をできない人が増えると思います。コミュニティバスなどの乗車時間を考慮した運行を検討願います(外出するのが楽しみになります)
- ・ 交通手段(公共交通機関の充実・乗合タクシー等)の検討
- ・ 白子駅行の直通バスの要望
- ・ バス停が遠い

【地域内の助け合いに関する課題, 意見】

- ・ 高齢者が多くなるので、買物やゴミ出しなどサポートできる方法(例・ボランティアグループを作り、買物、お出かけ、ゴミ出し等をサポートする)
- ・ お互いが助け合う為、定年退職後の人材を活用し、街独自のボランティア組織(有償(低額))を作ったらどうだろうか。
- ・ 高齢化が進む太陽の街なので、買い物の手伝い等のちょっとしたお手伝いができる仕組みができるといいと思います。また、逆に小さな子供さんのちょっとしたお世話ができるといいですね。
- ・ 高齢者世帯や単身世帯が増えてきており、地域のコミュニケーションも薄くなっている。地域主体で高齢者の見守りが必要である。
- ・ 団地内で困った人を互いに助け合う(生活補助)仕組みを作らないと高齢化するこの地域で住み続けるのが難しくなると思う。
- ・ ”高齢世帯、単身世帯が今後増えていくであろうから、共助が必要だと思う。稲生地区のような助け合いのシステムが出来たらよいと思う。
- ・ このような住民アンケート自体は大変良いことだとは思いますが、設問の文字が高齢の方には小さすぎるのではないのでしょうか？地域づくりを進めるのであれば地域住民(特に弱者)への配慮もしていただきたいと思います。

【地域の繋がりに関する課題, 意見】

- ・ 新興住宅のため、しきたりや風習などのしほりはないものの、孤立的であったり、つながりの薄さは感じている。核家族が多く、その後に独居の家庭が増えることが想像つくため、孤立しないよう常に地域全体で見守り、関わりが多いと、例え独居であっても不安は感じないだろうし、暮らしやすくなるのではないか。
- ・ 沢山の人の意見をホームページ又は公民館に目安箱を設置して自由に意見を出せるようにしてほしい。
- ・ もっとまちづくり活動についての PR を具体的に発信してほしい。
- ・ HP でボランティア参加を呼びかけてはどうか。地域資源(鈴鹿大学等)や外へ出ている人材の活用
- ・ 80 代、90 代でも気軽に集まれる場が欲しい。
- ・ 各自が自分の世代のことだけを考えずに 30 年先のことを考えてまちづくりに取り組むことが重要
- ・ ご近所さんの連絡を密にし、自治会活動に参加することが大事だと思います。
- ・ 今、まちづくり活動が必要かについて、班長を含めて自治会役員が理解することが大切。協議会役員は会合等に出席し、十分な説明をすることで、まちづくりサポーターを増やす活動に取り組むことが求められるのでは。
- ・ 地区の困っている事を集約し、その解決に向けての活動にしてほしい

- ・住民のふれあう機会を多様化することが大切だと思います。
- ・地域の住人との交流が少ないので、いろんな行事をして住人どうしのつながりの場をつくるといいと思います。
- ・団地と旧村の交流を深める。
- ・隣近所の人々とのつながりを強め、共助の精神に富んだ地域コミュニティを作る(特に団地)。
- ・住民の声に耳を傾け、身近な要望から一つ一つ着実に実現できるような町づくり。
- ・少しの事で出来ることを出来る人が手伝えるような仕組みがあれば良いと思います
- ・郡山地区は高齢化、過疎化しているので、若者がこの地域に興味をもてるような住みやすい環境になればよいなと思います
- ・道で会ったら挨拶をするようにして下さい(特に大人の人)(旧の町の人には挨拶してくれるのに)

【生活環境に関する課題, 意見】

- ・歩道付近の草取り、花を育てる活動、ありがとうございます。そのおかげでこの地域に暮らして良かったと思います。
- ・空き家や空き地などの利活用されていない土地を地域おこしのために活用できないか
- ・老朽化した設備, 道路の改修を進め、ハード面で整った環境作り、今後更に増える高齢者向け施設や憩いの場を設ける。
- ・空き家や土地の管理
- ・犬のふん、ゴミの収集は何とかなりませんか？
- ・防犯カメラを設置してほしい
- ・郡山地区まちづくり協議会の役員選出のやり方に異議があります。自治会役員選出にも困難な状況(くじ引きで決めている)の中、やりたくない人がまちづくり協議会に加わり、会議に出席することは、より良いまちづくりになるとは思いません。意欲のある人を募り、運営していくのが、地区をより良くする選出だと思います。
- ・公共交通の便が少なく移動手段に困る
- ・若い者が外へ出て行き、地域の高齢化・世帯減少による農地荒廃
- ・公共交通機関を利用する場合、徒歩で行くには遠すぎ、車で行くとなると駐車場が少ない(伊勢鉄道中瀬古駅)
- ・免許返納後の買い物、通院が心配。
- ・コミュニティづくりに関心を持たない人が多い
- ・自治会の役員についてもきちんと話し合わない出来ない人ばかりが増えて自治会が成り立たなくなってしまう。すぐに解決出来る問題ではないので、先送りせず話し合うべきだと思う。
- ・近所づきあいなど人間関係が希薄と感ぜられる。
- ・買い物, 病院が不便。車がなければ生活できない。年をとったら暮らせない。
- ・バス、電車の本数が少なく、車がないと生活が不便

【その他 課題, 意見】

- ・自治会員の交流の機会が欲しい(カフェ等)
- ・自治会役員の免除基準(高齢や健康状態)
- ・自治会役員の強制しないで
- ・自治会活動は高齢化で不安
- ・自治会活動の簡素化・役員の改革
- ・自治会班長の負担軽減・班長の免除基準の見直し・デジタル化
- ・ゴミ当番(資源ゴミも含む)の免除基準の設定(年齢・健康状態)・専任制
- ・若い世代との意見交換・自治会への積極的活動
- ・垣根の未剪定の家に催促をして欲しい
- ・歩道の拡張・街路樹の根による破損
- ・放課後子供教育・認知症サポート
- ・子どもが安心して過ごせる街に・遊び場の確保
- ・公民館→池沿いの道路面に速度表示して欲しい

- ・ フットサル場～下の県道の間の草取り
- ・ 大地震があれば木造の家が全壊しないか心配
- ・ 災害の不安・集中ガスからプロパンガスへの移行
- ・ 街灯を明るくして欲しい
- ・ 公園に高齢者ストレッチ用具の設置
- ・ 団地内に郵便局が欲しい
- ・ 地元から市議会議員の選出
- ・ 中勢 BP 開通でアクセス良好
- ・ 郡山ランプ近辺の活性化
- ・ 挨拶、マナー向上を望む
- ・ カーブミラーの汚れ、見えにくい・班編成の見直し
- ・ ゴミ集積所の整備
- ・ 自治会活動の SNS 活用
- ・ 垣根のフェンス化
- ・ 生活道路の除草
- ・ 犬の無駄吠え・生活騒音(エンジン音等)
- ・ 喫煙臭が近所からして不快
- ・ 月極駐車場が少ない・路上駐車が迷惑
- ・ 猫のフン被害・犬のフンの処理をしていない
- ・ 伝統行事やお祭りがしたい
- ・ 団地内に商業施設の誘致
- ・ 医療機関の存続、充実・福祉施設の誘致
- ・ 一人世帯の安否確認制度
- ・ 地域活動の参加率が低い
- ・ 中瀬古駅前の駐車場の拡張
- ・ スマホ講座を開催して欲しい
- ・ 生活等・困りごとの支援
- ・ シニアマンション(アパート)の要望
- ・ 困りごとを具体例で発信して欲しい

【まちづくりの方向性】

- ・ 学校(鈴鹿大学も含む)とまちづくりの連携
- ・ 周辺地域との交流
- ・ アンケートのフォントサイズは大きく
- ・ まちづくり協議会の発信力が弱い・HP が更新されていない

*** プチ情報***

- ・ サンシの宅配サービス(資源ゴミ回収・クリーニング取扱)を利用しているとご意見を頂きました。
- ・ 「ともに生きよう郡山」有償ボランティアが活動しています
- ・ 困った時の相談窓口開設 相談先の紹介を行う
- ・ 孤立化の軽減、情報交換の場を検討しています。
- ・ 街路樹の根による破損は自治会から行政へ要望書を提出します。
- ・ 猫被害について、庭に大粒の砂利を敷いたら減少したと情報有り。

9 おわりに

郡山地区の皆さんにアンケートをお願いし、あわせて日ごろお持ちの意見を集約した報告書となりました。将来の不安について色々と考えていただいていることが把握できました。地域の活動を担う基幹としての『郡山まちづくり協議会』がまだ知られていません。

今後、地区の皆さんが日常生活の中での困りごとに対し、できる事をできる人が補う安心して暮らしていける地域づくりのために『郡山まちづくり協議会』の活動を進めて行きたいと思います。

それには

- ① 地区の皆さんに『郡山まちづくり協議会』の活動と参加・協力を進めていく。
【広報】【回覧】【HP】とともに、コミュニティを縫合した、話し合いのできる
【機会】【場所】の提供を行う。
- ② 地域の困りごとと、補う人の具現化を進める
日常生活の困りごと(ゴミだし、買い物、病院、剪定、など)とボランティア
の確保 (高齢者 一人住まい)
- ③ 『郡山まちづくり協議会』活動の担い手の拡充
自治会、関係団体との繋がりや研修・視察の推進
- ④ 地域部屋相談室開催
困りごとの窓口 関係機関の紹介 関係団体

『郡山まちづくり協議会』は地域の皆さんのものです。

『郡山まちづくり協議会』の活動にさらに関心を持っていただき、
地域の活動への参加をお願いします。

更に運営企画の参加を広く求めます。

郡山まちづくり協議会



あいさつ運動



害獣駆除



地域共有車両



公園清掃



防災用備蓄



高齢者と子どもの交流会



地域内コミュニティの推進



子ども対象の農業体験



避難訓練



ボランティアによる
個人車両送迎



ボランティアに
よる電球交換



不法投棄監視カメラ



清掃ボランティア



防犯パトロール



ボランティアによる庭清掃



ボランティアに
よるゴミ出し



子どもを守る家



こども食堂



交通安全推進

発行

郡山まちづくり協議会

〒510-0263

鈴鹿市郡山町 540-8 郡山公民館内地域部屋